

令和 7(2025)年 4 月 23 日

## CISPR14-1 第 7.0 版の国内答申(案)の作成について(主任案)

CISPR/F 作業班主任 山下洋治

## 1. 背景

CISPR 14-1は第 5.1 版(2008 年発行)が平成 23(2011)年に情報通信審議会から答申されて以降、第 5.2 版(2011 年)、第 6.0 版(2016 年)、第 7.0 版(2020 年)が発行され、電磁誘導加熱式調理器の適用範囲への追加、放射妨害波測定における機器配置条件の整備、GHz 帯の許容値と有線ネットワークポートの許容値の追加など、規格の利便性や機器の技術的変遷への対応をふまえて要求事項が大きく追加、修正されている。

現在、第 8 版のメンテナンスを昨年から行っている中ではあるが、発行にはまだ 2,3 年を要するところである。電気用品安全法の雑音の強さに関する省令解釈が国際規格整合規格へ改正予定であること、また、速やかに新規事項へ対応することが好ましいと判断し、CISPR/F 作業班にアドホックグループを設置し、早期に最新版の国内答申案作成作業を開始することとしたい。

## 2. CISPR 14-1 国内答申案作成のための作業班の設置

F 作業班内部に以下のアドホックグループを設置する。

- (1) 名称: CISPR 14-1 国内答申アドホックグループ
- (2) リーダ: 前川 恭範 氏(ダイキン工業)
- (3) 構成員: F 作業班構成員の希望者及び試験機関、関連工業会等からの希望者とする。

具体的には以下の者である。(調整中)

## 3. アドホックグループの検討対象

CISPR 14-1 第 7.0 版を対象として、答申案を検討する。

## 4. アドホックグループの作業項目

CISPR 14-1 第 7.0 版の日本語訳、国際規格からのデビエーションの検討、答申案の作成

## 5. スケジュール(調整中)

- (1) アドホック構成員の確定、アドホックグループ立ち上げ 2025 年 5 月
- (2) CISPR 14-1 第 7 版の日本語訳作成、答申案作成
- (3) デビエーションの提案～検討
- (4) 令和 7 年度(2026 年度)中 一部答申

以上